

数字で学ぶ  
男女共同参画教室

56人 / 691人  
(県内市町村議会における女性議員数)

この数字は、平成29年12月末時点での県内市町村議会議員のうち、女性議員の人数です。女性議員の割合は8.1%となっており、少しずつ増加しているものの、15市町村で女性議員が1人もいない現状があります。

国は、これまで男性中心だった政治分野への女性の参画を後押しし、国会や地方議会の女性議員を増やすため、選挙の候補者数を「できる限り男女均等」となることを目指すよう政党に促す「政治分野における男女共同参画推進法」を5月に施行しました。介護や子育てなど、これまで女性が携わることの多かった分野での実体験を交えた生活者視点の政策などが期待されています。

議会だけでなく、社会のさまざまな分野の発展のためには、各分野の政策・方針決定の過程に「多様」な立場の人が「多様」な意見を持って参画し、その意思が公正に反映されることが重要です。

コンカツ  
INFO  
vol.24

「食べた人が幸せな気持ちになるスイーツ」をテーマに開催した第2回コンカツスイーツコンテストでグランプリ、準グランプリに輝いた2作品が市内菓子店「菓子工房だるまや」で販売開始されました。

グランプリ作品「かぼちゃ三昧」(富山みなみさん・野田女子高)は「子どもから大人まで甘いものが苦手な人にも好んでもらえるスイーツ」と考案。かぼちゃを使ったスポンジ生地を使い、ソースに赤しそジュースのゼリーをのせたさっぱりした味わいが特徴です。また、準グランプリ作品「福ふくれ」(小瀬葵さん)は「結婚して新しい



▲グランプリのかぼちゃ三昧



▲準グランプリの福ふくれ

問合せ コンカツプロジェクト協議会事務局(水産商工課内) TEL72-1111・内線421

コンカツスイーツ味わって  
コンテスト入賞作品が市内菓子店で商品に

命を授かった。周りの方のおかげで訪れた福を、今度はこちらが返していきたい」との思いが込められた作品で、カフェインレスの桑茶を使用し、子どもや妊婦、高齢の方などが安心して食べられるスイーツになっています。

ぜひ味わって幸せな気持ちになつて!



枕崎市地域おこし協力隊の前永です！  
暑い日が続いておりますがいかがお過ごしでしょうか？熱中症には十分気を付けましょう！

地域おこし協力隊  
活動レポート

協力隊  
が行く!

5月27日に田布川町で蛍のコンサートを行いました！

「夢蛍たぶがわ」の方々2年前からピオトープの創生に取り組み、昨年蛍の放流会で放流した蛍も無事にピオトープに定着したらしく、条件のいい日には多くの蛍が飛び交うようになり、田布川町も蛍が乱舞するまちとして一歩ずつ歩み始めています。

そんな中、今年はフルート奏者の「八田かなえさん」をお迎えし、蛍のコンサートを行いました。市内外から約200名の方にお越しいただき、子どもたちの手のひらから飛び立つ蛍とフルートの演奏が会場を包みこむ様子は心にグッとくるものがありました。

まるで「夢蛍たぶがわ」の皆さんと取り組んできた今までの活動の一つひとつが蛍の光となり、歓喜の想いを乗せて飛んでくれたようにも思えました。

蛍の発する光は、精神的な安らぎや癒しを与えてくれる可能性を持っています。田布川のピオトープも人々の憩いの場所となり、安らぎを与えてくれる、そんな場所になって欲しいと思います。

また来年も蛍が飛んでくれることを願っています。



前永隊員から市民の皆さんへ

今まで2年と少し枕崎市地域おこし協力隊として活動してまいりましたが、6月いっぱい協力隊を卒業することとなりました。

2年前、地域おこし協力隊として初めて枕崎に来て、知り合いもいないこの土地で生活していきけるのだから、正直とても不安ではありましたが、枕崎の方々の温かさに触れ、その不安も気づけばどこかに行っていました。

地域おこし協力隊として、ピオトープの創生やさまざまなイベント、地域行事やメディアでの枕崎のアピールなど、さまざまなことに取り組んできましたが、そのどれもが一人では成すことはできなかつたと思います。皆さんの協力や支援をいただきましたが、協働で活動できたことはとても幸せでした。

枕崎は、鯉節、お茶、電照菊などさまざまな産業のあふれるまちであり、海や山、立神岩など自然豊かで風光明媚なまちでもあります。

オトープの創生やさまざまなイベント、地域行事やメディアでの枕崎のアピールなど、さまざまなことに取り組んできましたが、そのどれもが一人では成すことはできなかつたと思います。皆さんの協力や支援をいただきましたが、協働で活動できたことはとても幸せでした。

枕崎は、鯉節、お茶、電照菊などさまざまな産業のあふれるまちであり、海や山、立神岩など自然豊かで風光明媚なまちでもあります。



ります。そして何よりも、枕崎最大の良さは「枕崎に住む人々」と実感しています。自分自身、また枕崎に来たいというよりは、枕崎に来て誰々に会おうという気持ちが強いです。

枕崎でお世話になった方々、自分と関わってくださった方々、広報紙や新聞などを通じて活動を見守ってくださった方々、枕崎のすべての方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。今まで本当にありがとうございました。またお会いしましょう。

健康ちゃんねる

健康センター  
TEL 72-7176

あなたの子育て応援します

妊娠期を健やかに過ごし、安全にお産ができるよう本市では市内唯一の産科医療機関である森産婦人科と連携し、取り組みを進めています。

どのお母さんであっても、産後に育児の不安や心身の不調はあるものです。お母さんの心と体の調子が良くなり、育児が楽しく充実したものとなるようお手伝いできたらと思います。

■15回目、16回目の妊婦健診費用の助成事業開始

本市は、これまで14回目までの妊婦健診の費用助成を実施してきました。4月1日から子どもを望む夫婦の経済的な負担の軽減を図り、子どもを産み育てやすい環境づくりに資することを目的に、15回・16回目の妊婦健診に要する費用の一部を助成します。

対象者  
本市市民で、妊婦健診14回目まで受診し、出産予定日を超過した方で妊婦健診が必要な方(里帰りのため県外にて出産予定日超過後に15回・16回の妊婦健診を受診した方)に対しては、出産後に償

還払いいたします(産後ケア事業)

■産後ケア事業  
出産後に自宅に帰っても手伝ってくれる人がいなくて不安、授乳がうまくいかない、赤ちゃんのお世話の仕方や生活リズムが分からないなど、育児に関して支援が必要な方を対象に産後ケアを実施します。

ケアの内容  
乳房ケア、授乳指導(オムツ交換、更衣、抱っこ)の仕方、授乳の仕方、排気させ方、授乳量、体重測定など、沐浴指導(自宅で使うベビーバス使用しても可)、メソラルケア(必要に応じて専門医への受診)

対象者  
本市市民で、産後4カ月未満で体調不良や育児不安等がある方

※産後に家族からの援助が受けられない方

※医療の必要な方は利用するとはできません。

■妊婦健診・産後ケアに関する申請方法等  
申請方法等については、健康センターにお問い合わせください。